

第3回 日本うつ病リワーク協会 年次大会 山梨大会

The 3rd Japanese Association of Re-work for Depression Annual Convention

うつを生きる、再考 ～医療リワーク継続のために

会期

2020年 4月25日(土)・26日(日)

会場

山梨県地場産業センター かいてらす

〒400-0807 山梨県甲府市東光寺3丁目13-25

大会長

大橋 昌資

医療法人啓夏会 響ストレスケア～こころとからだの診療所 理事長・院長

第3回 日本うつ病リワーク協会 年次大会 山梨大会

The 3rd Japanese Association of Re-work for Depression Annual Convention

プログラム・抄録集

うつを生きる、再考 ～医療リワーク継続のために

主催 ● 一般社団法人 日本うつ病リワーク協会

後援 ● 山梨県、上野原市、大月市、甲斐市、甲府市、中央市、都留市、韮崎市、
笛吹市、富士吉田市、北杜市、南アルプス市、山梨市、市川三郷町、
昭和町、南部町、西桂町、富士河口湖町、富士川町、身延町、鳴沢村、山中湖村、
一般社団法人 甲府市医師会、一般社団法人 中巨摩医師会、一般社団法人 東山梨市医師会、
山梨県精神科病院協会、山梨県精神科診療所協会、公益社団法人 山梨県看護協会、
日本精神科看護協会 山梨県支部、山梨県精神保健福祉士協会、
一般社団法人 山梨県作業療法士会、山梨県臨床心理士会、集団認知行動療法研究会、
山梨日日新聞社 山梨放送、テレビ山梨、株式会社エフエム甲府、
株式会社エフエム富士、公益社団法人 やまなし観光推進機構

会期

2020年 4月25日(土)・26日(日)

会場

山梨県地場産業センター かいてらす

〒400-0807 山梨県甲府市東光寺3丁目13-25

大会長

大橋 昌資

医療法人啓夏会 響ストレスケア～こころとからだの診療所
理事長・院長

INDEX

ご 挨 拶	1
交通アクセス	2
会場案内図	3
参加者へのご案内	4
発表者へのご案内	7
日 程 表	10
プログラム	12
単位取得表	22
抄 録	
特別講演	25
教育セッション	27
シンポジウム1	33
シンポジウム2	37
音楽療法ワークショップ	41
市民公開講座	43
口頭発表1	45
口頭発表2	51
ポスター発表	57
地域連携委員会 報告会	83
情報編集委員会報告会	89
指導スタッフの個別指導及び審査	91
ランチョンセミナー1	93
ランチョンセミナー2	95
ランチョンセミナー3	97
ランチョンセミナー4	99
共催・後援・協賛等 一覧	102
運営組織図	103

第3回日本うつ病リワーク協会 年次大会 山梨大会

ご 挨 拶

大会長 大橋 昌資

医療法人啓夏会 響ストレスケア
～こころとからだの診療所 理事長・院長

第3回日本うつ病リワーク協会年次大会山梨大会は、2020年4月25日(土)と26日(日)に、山梨県甲府市にあります地場産業センターかいてらすにて開催致します。

2008年に発足したうつ病リワーク研究会は10年の歳月を経て発展を続け、2018年2月には一般社団法人日本うつ病リワーク協会が設立されました。所属する医療機関は200機関を超え、会員数は1,000人を超えます。そして昨々年には第1回の年次大会が福島県で、昨年は第2回の年次大会が福井県にて開催され、地方開催でしたが、どちらも内容も充実し、参加者、開催者の気持ちのが込もったものでした。

そのような流れを受けて、私どものクリニックがあります山梨県(東京都の西隣り)で、年次大会を開催させて頂くことが決まり、2年ほどになります。会期が迫り、準備に追われていますが、大変名誉なことと感じつつ、その責任に気が引き締まる思いでおります。

今回の大会テーマは「うつを生きる、再考 ～医療リワーク継続のために」とさせていたいただきました。「うつを生きる」は、今回、特別講演をお願いしている、もみじヶ丘病院の芝伸太郎先生が生みの親の言葉で、そのタイトルのご著書が世に問われたのは2002年の事でした。「メランコリー親和型を基盤に発症するうつ病」の患者さんは当時の私たちの中心となる治療対象でした。その治療の取り組みの一つとして、医療リワークは黎明期を迎えました。時代が変わった今でも、そこで問われた患者さんの生きる様子には変わりがないように思います。一方で、うつそのものが多様化、非定型化してきて、リワークプログラムも発展、改良されてきました。その時代的な流れを、しっかりと振り返りたいと考え、先達のお力を拝借し、また文明の利器も借りた(アメリカからインターネット中継があります!)教育セッションも企画しています。また、プログラムの継続、医療リワークの深化に役立つよう、2つのシンポジウムも企画しています。

当院は多職種の職員5人と医師は私のみ、という小規模クリニックです。それゆえに多くの力添えを周囲からいただかないと大会が運営出来ません。幸いにも、甲府盆地の仲間を中心に多数の協力が得られ、約50名のスタッフで皆様をお迎えします。連携を重視して運営に当たるのは、リワークプログラムを始めてから臨床でしてきた事と同じだな、と10年以上前を懐かしくも思います。全国の地方都市の小さな施設でも、年次大会を開催出来る先例になればと思っております。

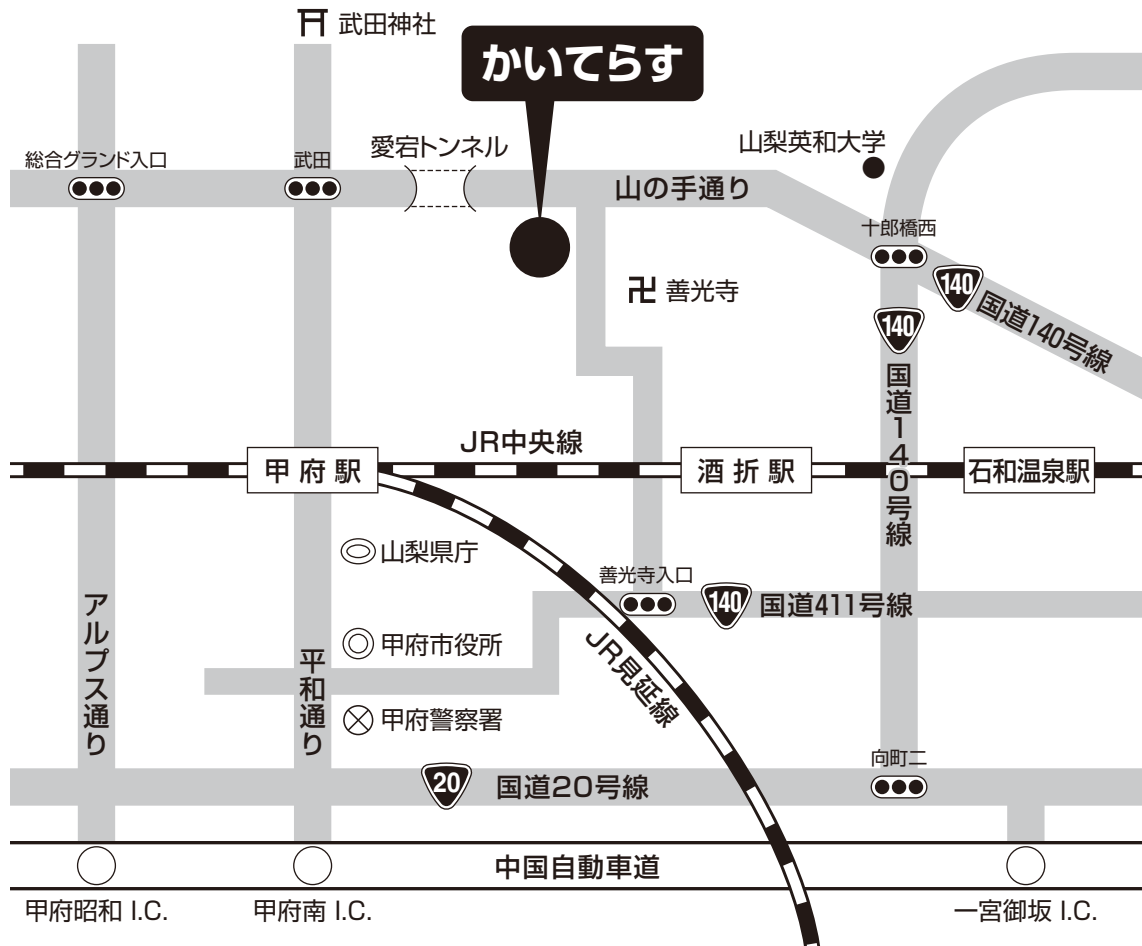
山梨では、世界文化遺産の富士山をはじめとして、昨々年には、「葡萄畑が織りなす風景—山梨県峡東地域—」、「星降る中部高地の縄文世界—数千年を遡る黒曜石鉾山と縄文人に出会う旅—」が日本遺産として登録されています。新緑の昇仙峡も訪れる価値があります。また会場は、古事記にも出てくる連歌発祥の地、酒折の宮や甲斐善光寺の近傍です。自然、温泉、地の物と種々の楽しみも、皆様をお迎えし、おもてなし致します。

是非とも山梨まで、足をお運び下さい。多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

交通アクセス

会 場：**かいてらす**(山梨県地場産業センター)

〒400-0807 山梨県甲府市東光寺3-13-25 電話番号：055-237-1641



交通のご案内

■ 電車でお越しの場合

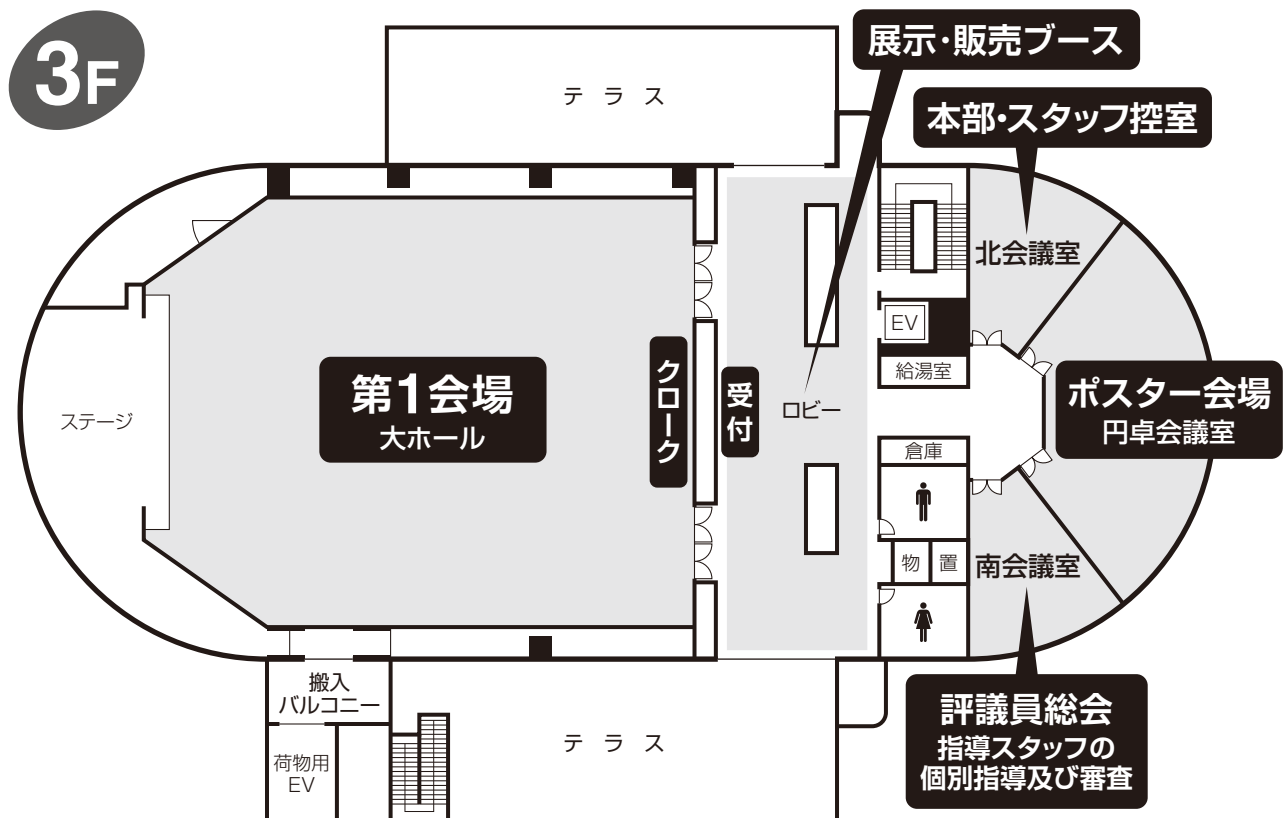
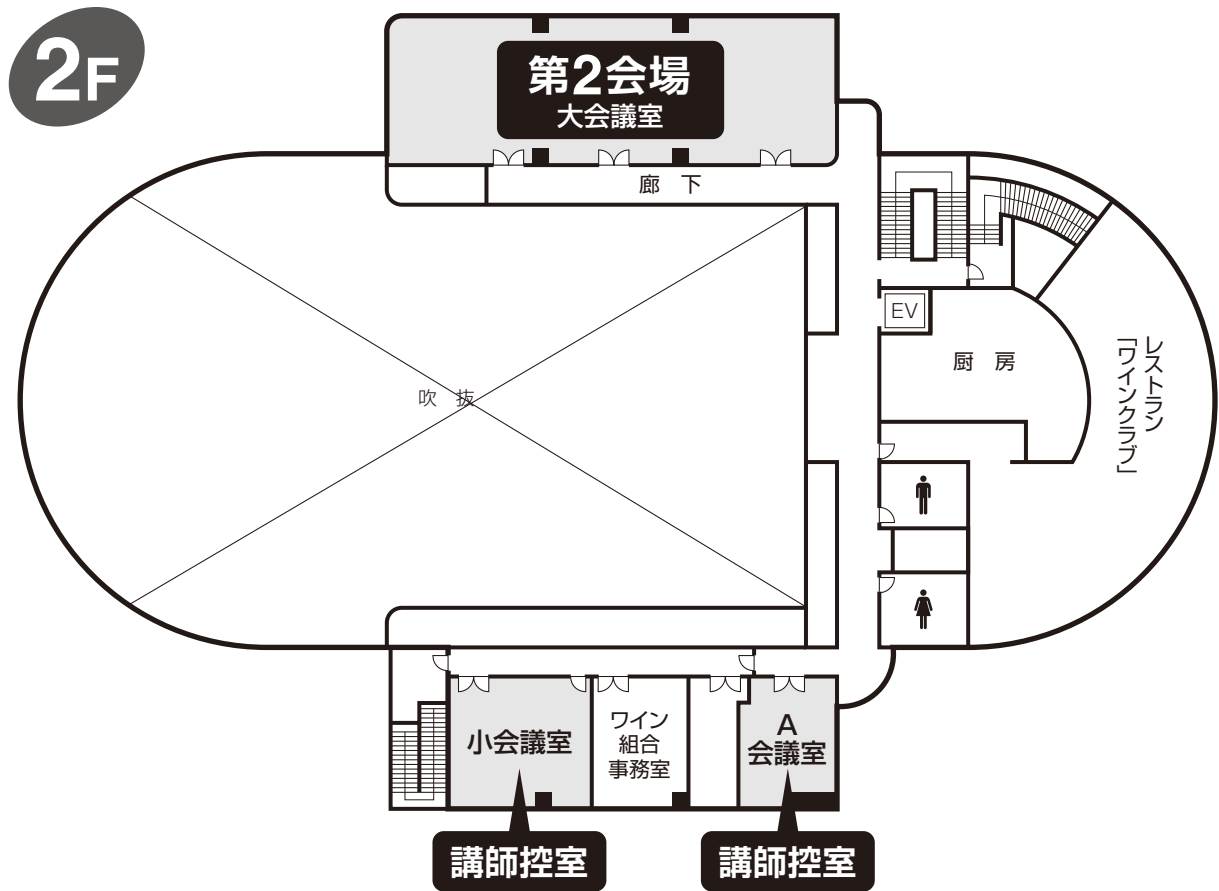
- ・ JR中央線甲府駅(北口)からタクシーで10分
- ・ JR中央線甲府駅(北口)からバスで10分*
- ・ JR中央線酒折駅から徒歩15分
- ・ JR身延線善光寺駅から徒歩15分

■ お車でお越しの場合

- ・ 中央道一宮・御坂ICより車で20分
- ・ 中央道甲府昭和ICより車で25分

※4ページも参照ください

会場案内図



参加者へのご案内

受付場所

山梨県地場産業センター かいてらす 3階ロビー

受付時間

令和2年4月25日(土) 9時00分～17時00分

令和2年4月26日(日) 9時00分～14時00分

1. 無料送迎バスのご案内

甲府駅 ⇄ かいてらすの無料送迎バスを運行予定です。

○無料送迎バス

乗車口：甲府駅北口

運行時間

日 付	行 先	出発時間	
4月25日(土)	甲府駅(北口)→かいてらす	8時35分	9時15分
	かいてらす→甲府駅(北口)	17時40分	18時10分
4月26日(日)	甲府駅(北口)→かいてらす	8時35分	9時15分
	かいてらす→甲府駅(北口)	14時40分	15時40分

ダイヤの改正に伴い時間が変更となる可能性があります。
大会 HP でご確認ください。

2. 当日参加申し込みの方へ

- (1) 参加費 会 員：6,000円
 非会員：7,000円(抄録集は別途)
 抄録集：1,000円

(2) 受付の流れ

- ①会員、非会員ともに、会場受付に置いてあります「参加申込書」に必要事項をご記入ください。
 - ②「当日参加受付」窓口にて、参加申込書を提出いただき、参加費を現金でお支払いください(お釣りのないよう、ご協力をお願いいたします)。
 - ③引き換えに、ネームカードとネームホルダーをお渡しします。
また、宿泊先アンケート、大会参加アンケート、日本医師会生涯教育制度単位申告書(医師のみ)などをお渡ししますので、お受け取りください。
なお、個別の領収書の発行はいたしません。名札に添付されています領収書をご利用ください。
 - ④お渡ししたネームカードに、ご所属、職種、お名前をご記入ください。
 - ⑤大会期間中、会場内では、ネームカードを必ず着用してください。
- ※ネームホルダーは回収します。お帰りの際に、受付にお渡しいただくか、回収ボックスにお入れください。

3. 事前参加登録をされた方へ

プログラム・抄録集と参加証明証を別に郵送しておりますので、忘れずにご持参ください。

来場の際は、「事前参加受付」窓口にて、参加証明証の提示をお願いします。

受付時にネームホルダーをお渡しします。また、宿泊先アンケート、大会参加アンケート、日本医師会生涯教育制度単位申告書(医師のみ)なども合わせてお渡ししますので、お受け取りください。

なお、会期中、会場内では、ネームカードを必ず着用してください。

また、ネームホルダーは回収しますので、お帰りの際に、受付にお渡しいただくか、回収ボックスにお入れください。

《ご注意》 ホームページより事前登録をいただいた方で、入金締め切り日時までに参加費の振り込みがなかった場合は、当日参加扱いとなり、参加費の差額が発生します。
予めご了承ください。

4. プログラム・抄録集

会員、及び事前参加登録をされた方には、事前に送付しておりますので、ご持参ください。

購入を希望される方には、1冊1,000円(税込み)で販売します。

5. 懇親会(情報交換会)

日 時：令和2年4月25日(土) 18時30分～20時30分

場 所：フォーハーツカフェ 山梨文化会館店

〒400-0024 山梨県甲府市北口2丁目6-10 山梨文化会館 2階

会 費：4,000円

6. 会場内でのご協力とお願い

(1) 発表者の許可なく、発表内容の撮影・録画・録音等は固く禁止いたします。

(2) 発表や講演中は、携帯電話やスマートフォン等のご使用はお控えいただき、マナーモードに
していただくか、電源を OFF にしてください。

7. 会場内設備について

(1) クローク

場 所：かいてらす 3階 大ホール後方

対応時間：令和2年4月25日(土) 9時00分～18時00分

令和2年4月26日(日) 9時00分～16時00分

・手荷物、コート類などをお預かりしますが、貴重品、壊れ物、食品類などはお預かりできません。

(2) 呼び出し業務 : 原則として、お呼び出しは行っておりません。

(3) 紛失物に関して : 会期中のお忘れ物や落とし物につきましては、総合受付にて保管しております。

(4) 託児室 : ご用意がございません。予め、ご了承ください。

(5) 喫煙スペース : 館内にはありません。建物1階の入り口付近の指定された喫煙場所をお願いします。

(6) 駐車場について : 車でお越しの方は、会場周辺の駐車場をご利用ください。
学会当日は駐車場の混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

8. その他

(1) 昼食・飲食について

ランチョンセミナーのお弁当は、数に限りがあります。会場周辺の飲食店などをご利用ください。また会場内で飲食されたゴミは必ずお持ち帰りください。

(2) アンケートへのご協力をお願い

受付時にお渡しします、大会アンケートや宿泊アンケートへのご協力をお願い致します。お帰りの際に、受付にお渡しいただくか、回収ボックスにお入れください。

9. 各種会議のご案内

(1) 地域連携委員会報告会（シンポジウム形式）

日 時：令和2年4月25日（土）10時45分～11時45分

場 所：かいてらす 2階 大会議室

(2) リワーク施設認定説明会

日 時：令和2年4月25日（土）13時15分～14時45分

場 所：かいてらす 2階 大会議室

(3) 情報編集委員会報告会

日 時：令和2年4月25日（土）14時45分～15時05分

場 所：かいてらす 2階 大会議室

(4) 評議員総会

日 時：令和2年4月26日（日）12時00分～13時00分

場 所：かいてらす 3階 南会議室

10. 展示について

日 時：令和2年4月25日（土）9時00分～17時30分

令和2年4月26日（日）9時00分～15時30分

場 所：かいてらす 3階 ロビー

展示企業：・帝人ファーマ株式会社

・株式会社日立製作所

11. 書籍販売について（星和書店）

日 時：令和2年4月25日（土）9時00分～17時30分

令和2年4月26日（日）9時00分～15時30分

場 所：かいてらす 3階 ロビー

12. 第4回年次大会開催案内

佐々木 一先生（医療法人社団爽風会 心の風クリニック 理事長）の主幹で、2021年4月17日（土）、18日（日）に千葉県千葉市で開催予定。

発表者へのご案内

1. 座長へのご案内

予めプログラム時間をご確認の上、設定された時間内で発表や討論が円滑に進行するようにご配慮をお願いいたします。

- (1) 3階の「登壇者受付」にて受付をお願いします。その後、ご登壇の10分前までに控室にお入りください。登壇者全員が揃いましたら、案内係が誘導します。
- (2) 各会場には進行係があり、各演者の発表時間や討論時間を計測しています。持ち時間が経過した場合はベルを鳴らしますので、ご協力をお願いします。

2. 発表者へのご案内

(ポスター発表以外の全ての発表者(講師、演者、シンポジスト、口頭発表者))

発表は全てパソコンによるプレゼンテーションとなります。

(1) 倫理的配慮について

世界医師会によるヘルシンキ宣言(その改訂版を含む)、及び日本精神神経学会の「臨床における倫理綱領」(精神神経学雑誌; 99, 525-531, 1997)等に記載された倫理規約に即し、発表にあたっては十分なインフォームド・コンセントを得て、プライバシーに関する守秘義務を遵守し、匿名性の保持に十分な配慮をしてください。

また、ご所属先の倫理審査委員会がある場合は審査を受けて承認されたことや、対象者に対して文書等で説明・同意を得たことを表示してください。

なお COI(利益相反)に関しても、日本精神神経学会の指針に従うようにお願いします。

(2) 発表データの作成について

- ① プレゼンテーション用のソフトは Windows 版 Microsoft PowerPoint2010 を準備しています。

- ② 文字フォントは PowerPoint に設定されている標準的なフォントをご使用ください。

推奨フォント：日本語…MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝

英 語…Century、Century Gothic

- ③ 作成された発表データは USB メモリー、または CD-R に保存して、3階受付の場所にあります「発表データ受付」窓口にお持ちください。お持ち込みの最終締め切りは、登壇の30分前までです。

なお、発表データを事前に提出いただいている場合は、こちらの作業は不要です。

(お預かりしたデータにつきましては、大会終了後に、責任をもって消去します)

- ④ 保存したデータのファイル名は、【セッション名+氏名】としてください。

なお各自、ウイルスチェックを行った上で、ご持参ください。

合わせて、トラブルに備え、ファイルのバックアップのご準備もお願いします。

- ⑤ PowerPoint 以外のソフト、もしくは Mac で作成されたデータを使用される場合は、パソコン本体のお持ち込みをお願いします。

なお Mac を使用する場合は、必ず付属の変換コネクタをご用意ください。

また、モニター出力端子は VGA ケーブル(D-sub15)、HDMI を準備しています。

(3) パソコンのお持ち込みについて

パソコンは当方で準備しています。もしパソコンをお持ち込みになる場合は、以下の点にご留意ください。

- ①パソコンに保存されたデータの紛失を防ぐため、発表データは必ずUSBメモリー、またはCD-Rにバックアップ用として保存していただき、当日、ご持参ください。
- ②ACアダプターを必ずご用意ください。
- ③スクリーンセーバー、省電力設定、及びパスワード設定は事前に解除してください。

(4) その他、発表について

- ①3階の「登壇者受付」にて受付をお願いします。
その後、ご登壇の10分前までに控室にお入りください。
登壇者全員が揃いましたら、案内係が誘導します。
- ②各会場には進行係がおり、各演者の発表時間や討論時間を計測しています。持ち時間が経過した場合はベルを鳴らしますので、ご協力をお願いします。
- ③講演台にはノートパソコンを用意しています。発表者ご自身での操作をお願いします。
- ④各シンポジウムの発表時間は、以下の通りです。

セッション名	セッション時間	1人当たりの発表時間	総合討論
教育セッション	100分	20分×4名	20分
シンポジウム1・2	120分	30分×3名	30分
口頭発表1・2	105分	18分×5名 (発表15分+質疑応答3分)	15分
地域連携委員会報告会	60分	20分×3名	

※口頭発表では、発表から10分目に1鈴、13分目に2鈴、15分終了時に3鈴ならします。

3. ポスター発表 発表者へのご案内

(1) 倫理的配慮について

世界医師会によるヘルシンキ宣言(その改訂版を含む)、及び日本精神神経学会の「臨床における倫理綱領」(精神神経学雑誌; 99, 525-531, 1997)等に記載された倫理規約に即し、発表にあたっては十分なインフォームド・コンセントを得て、プライバシーに関する守秘義務を遵守し、匿名性の保持に十分な配慮をしてください。

また、ご所属先の倫理審査委員会がある場合は審査を受けて承認されたことや、対象者に対して文書等で説明・同意を得たことを表記してください。

なおCOI(利益相反)に関しても、日本精神神経学会の指針に従うようにお願いします。

(2) ポスター発表データの作成について

「演題名・所属・氏名」部分と「本体ポスター」分の作成をお願いします。

「演題番号」は事務局で用意します。

① 演題名、氏名、所属貼付部分寸法

縦20cm×横70cm

参考) 演題名の文字の大きさ 144pt
(2行にわたる場合は100pt)

氏名、所属の文字の大きさ 72pt

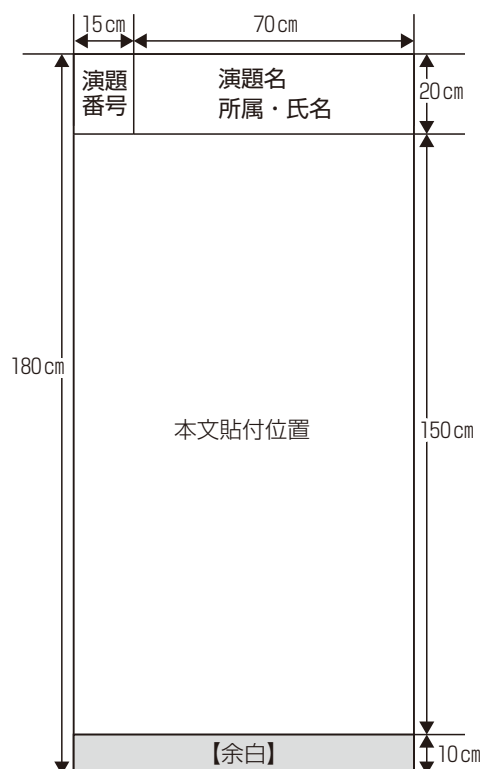
② 本文貼付部分寸法

縦150cm×横85cm

参考) 文字の大きさ 30pt 以上

注意) 本文は、図表、グラフ、写真含め、
縦150cm×横85cmの範囲内で作成
してください。

(目安 A0サイズ(118.9cm×84.1cm))



(3) その他、ポスター発表について

① ポスター会場

かいてらす 3階 円卓会議室

ポスター会場に着きましたら、同会場にあります「ポスター発表受付」で受付をお願いします。

受付にて、演題番号を確認し、ポスター貼付のための画鋏をお渡しします。

② ポスター掲示時間

令和2年4月25日(土) 10時00分～17時30分

令和2年4月26日(日) 9時00分～15時00分

なお、受付後、4月25日(土)9時00分よりポスターの貼付は可能です。演題番号をご確認の上、貼付をお願いいたします。

③ ポスター発表時間

令和2年4月26日(日) 11時00分～12時00分

発表時間内は、ポスター近くで待機し、対応をお願いします。

④ ポスター撤去時間

令和2年4月26日(日) 15時00分～16時00分

14時30分から撤去開始していただいて結構です。

16時00分までには撤去完了をお願いします。

なお撤去時間を過ぎても提示してあるポスターにつきましては、事務局にて撤去処分いたしますので、予めご了承ください。

医 CC1 (1) 日本医師会生涯教育講座単位 (カリキュラムコード、単位数)

産 (1) 認定産業医単位 (生涯：専門) (括弧内は単位数)

精 (1) 日本精神神経学会単位 (括弧内は単位数)

1日目 2020年4月25日(土)

第1会場 3F 大ホール		第2会場 2F 大会議室	ポスター会場 3F 円卓会議室
9:00	9:00～ 受付開始		9:00～10:00 ポスター 掲示
	9:30～9:50 開 会 式		
10:00	9:50～11:30 教育セッション 医 CC15 (1.5) 特別対談 産 (1.5) 精 (1) 医療リワーク、黎明期から発展期へ 座長：横山 太範 (医療法人社団心劇会 さっぽろ駅前クリニック) 佐久間 啓 (社会医療法人 あさかホスピタル) 演者：秋山 剛 (NTT 東日本関東病院) 五十嵐 良雄 (医療法人雄仁会 理事長) 尾崎 紀夫 (名古屋大学大学院医学系研究科) 徳永 雄一郎 (医療法人社団新光会 不知火病院)		10:00 ～ 18:00 ポ ス タ ー 展 覧
11:00		10:45～11:45 地域連携委員会 報告会 座長：森田 哲也 (株式会社リコー) 演者：枝川 由香利 (医療法人こころの会 品川駅前メンタルクリニック) 川内 昌平 (一般財団法人信貴山病院分院 上野病院) 中津 啓吾 (医療法人社団更生会 草津病院) 林田 耕治 (トータルヘルスクリニック)	
12:00	12:00～13:00 ランチョンセミナー 1 医 CC6 (1) うつ病患者の認知機能・睡眠・ 自動車運転技能の障害と復職支援 座長：吉村 玲児 (産業医科大学) 演者：尾崎 紀夫 (名古屋大学大学院医学系研究科) 協賛：武田薬品工業株式会社/ルンドベック・ジャパン株式会社	12:00～13:00 ランチョンセミナー 2 医 CC9 (1) コ・メディカルスタッフのための うつ病診療ガイドライン 座長：鈴木 健文 (山梨大学医学部 精神神経医学講座) 演者：杉山 暢宏 (信州大学医学部 保健学科) 協賛：ファイザー株式会社/大日本住友製薬株式会社	
13:00			
	13:15～15:15 医 CC70 (2) 産 (2) 精 (2) 特別講演 うつを生きる、再考 座長：鷺塚 伸介 (信州大学医学部 精神医学教室) 演者：芝 伸太郎 (特定医療法人福知会 もみじヶ丘病院)	13:15～14:45 リワーク施設認定説明会	
14:00		14:45～15:05 情報編集委員会報告会	
15:00			
	15:30～17:30 医 CC10 (2) 産 (2) 精 (2) シンポジウム 1 様々な治療技法 座長：三木 秀樹 (医療法人栄仁会 理事長) 田中 佐千恵 (信州大学医学部 保健学科) シンポジスト：柿崎 崇 (小澤こころのクリニック) 北川 信樹 (医療法人ライブフォレスト 北大通こころのクリニック) 能勢 隆宏 (特定医療法人十全会 十全病院)	15:30～17:15 口頭発表 1 座長：後藤 剛 (社会医療法人二本松会 山形さくら町病院)	
16:00			
17:00			
18:00			
19:00	18:30～20:30 懇 親 会 会場：フォーハーツカフェ		

医 CC1 (1) 日本医師会生涯教育講座単位 (カリキュラムコード、単位数)

産 (1) 認定産業医単位 (生涯：専門) (括弧内は単位数)

精 (1) 日本精神神経学会単位 (括弧内は単位数)

2日目 2020年 4月 26日 日

	第 1 会場 3F 大ホール	第 2 会場 2F 大会議室	ポスター会場 3F 円卓会議室	3F 南会議室
9:00	9:00～ 受付開始			
10:00	9:30～11:30 シンポジウム 2 医療リワークの継続の工夫 座長：三木 和乎 (医療法人社団ラルゴ 三木メンタルクリニック) 柴田 信義 (医療法人双信会 たてばやし心療クリニック) シンポジスト：浅井 慶介 (社会医療法人居仁会 総合心療センターひなが) 佐々木 一 (医療法人社団爽風会 心の風クリニック) 山本 真弘 (和歌山県立医科大学 精神神経医学教室)	9:30～11:15 口 頭 発 表 2 座長：小澤 政司 (小澤こころのクリニック)	9:30 ～ 11:00 ポ ス タ ー 閲 覧	9:30 ～11:30 指 導 ス タ ッフ の 個 別 指 導 及 び 審 査
11:00			11:00 ～12:00 ポ ス タ ー 発 表	
12:00	12:00～13:00 ランチョンセミナー 3 医 CC15 (1) うつ病になった労働者が 復職するために必要なこと ～産業医の立場から～ 座長：遠藤 謙二 (医療法人友愛会 千曲荘病院) 演者：市来 真彦 (東京医科大学 精神医学分野) 協賛：Meiji Seika ファルマ株式会社	12:00～13:00 医 CC69 (1) ランチョンセミナー 4 リワークの有用性と限界 ～事例をもとに考える～ 座長：西村 勝治 (東京女子医科大学病院 神経精神科) 演者：吉田 契造 (株式会社デンソー 健康推進部) 協賛：田辺三菱製薬株式会社 吉富薬品株式会社	12:00 ～ 15:00 ポ ス タ ー 閲 覧	12:00 ～13:00 評 議 員 総 会
13:00				
14:00	13:30～13:45 ミニコンサート ソプラノ：大橋絵里 (東京二期会) ピアノ：吉岡由美子 13:45～15:15 医 CC72 (1.5) 市民公開講座 働く人のための時間管理 座長：岡 敬 (特定医療法人十全会 十全病院) 演者：中島 美鈴 (九州大学大学院人間環境学府 / 肥前精神医療センター臨床研究部)	13:45～15:00 医 CC4 (1) 音楽療法ワークショップ 音楽の心身への影響 講師：松井 紀和 (日本臨床心理研究所) 山本 智美 (医療法人啓夏会 響ストレスケア ～こころとからの診療所)		
15:00	15:15～15:30 閉 会 式		15:00 ～16:00 ポ ス タ ー 撤 去	
16:00				

プログラム

1日目 4月25日(土)

9:30～9:50

開会式

第1会場(3F 大ホール)

1 大会長挨拶

大会長：大橋 昌資(医療法人啓夏会 響ストレスケア～こころとからだの診療所 理事長・院長)

2 来賓挨拶

山梨県 保健福祉部 障害福祉課

山梨県立精神保健福祉センター

山梨大学医学部 精神神経医学講座 鈴木 健文 教授

9:50～11:30

教育セッション

医CC15(1.5)

産(1.5)

精(1)

第1会場(3F 大ホール)

座長：横山 太範(医療法人社団心劇会 さっぽろ駅前クリニック)

佐久間 啓(社会医療法人 あさかホスピタル)

[特別対談 医療リワーク、黎明期から発展期へ]

ES-1 リワークプログラム：発足の経緯と使命

○秋山 剛

NTT 東日本関東病院

ES-2 黎明期を抜けて

～リワークプログラムが明らかにしてきたこと～

○五十嵐 良雄

医療法人雄仁会 理事長

ES-3 患者の個別性を考慮した社会復帰支援

○尾崎 紀夫

名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学・親と子どもの心療学分野

ES-4 再発防止のためのうつ病治療と復職支援

○徳永 雄一郎

医療法人社団新光会 不知火病院

医 CC1(1)	日本医師会生涯教育講座単位(カリキュラムコード、単位数)
産(1)	認定産業医単位(生涯：専門)(括弧内は単位数)
精(1)	日本精神神経学会単位(括弧内は単位数)

10:45～11:45 **地域連携委員会 報告会**

第2会場(2F 大会議室)

座長：森田 哲也(株式会社リコー)

- 1 医療リワークの普及・啓発に向けた地域連携委員会の取り組み
ー啓発用リーフレット、リワーク手帳の配布状況、
患者・家族向け医療リワーク説明用パワーポイントの紹介ー
○枝川 由香利
医療法人こころの会 品川駅前メンタルクリニック
- 2 医療リワークの普及・啓発に向けた地域連携委員会の取り組み
ーアンケート集計報告 ～啓発用リーフレット、リワーク手帳ー
○川内 昌平
一般財団法人 信貴山病院分院 上野病院リワークデイケア
- 3 当院リワークにおける地域連携の取り組み
○中津 啓吾
医療法人社団更生会 草津病院
- 4 北九州市におけるリワーク医療機関と産業保健スタッフの交流
「北九州リワーク交流会」の活動と成果
○林田 耕治
トータルヘルスクリニック(内科・産業保健専門外来)・トータルヘルス株式会社

12:00～13:00 **ランチョンセミナー1** 医 CC6(1)

第1会場(3F 大ホール)

座長：吉村 玲児(産業医科大学)

うつ病患者の認知機能・睡眠・自動車運転技能の障害と復職支援

尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学・親と子どもの心療学分野

協賛：武田薬品工業株式会社／ルンドベック・ジャパン株式会社

座長：鈴木 健文 (山梨大学医学部 精神神経医学講座)

コ・メディカルスタッフのためのうつ病診療ガイドライン

杉山 暢宏 信州大学医学部 保健学科

協賛：ファイザー株式会社／大日本住友製薬株式会社

座長：鷺塚 伸介 (信州大学医学部 精神医学教室)

うつを生きる、再考

芝 伸太郎 特定医療法人福知会 もみじヶ丘病院

日本うつ病リワーク協会誌発刊について

情報編集委員長 高尾 哲也 医療法人イブシロン 水戸メンタルクリニック

座長：三木 秀樹 (医療法人栄仁会 理事長)

田中 佐千恵 (信州大学医学部 保健学科)

[様々な治療技法]

S1-1 クリニックリワークプログラムにおける運動の活用と企業連携について

○柿崎 崇

小澤こころのクリニック 作業療法士

S1-2 リワークにおける CBT を中心とした気分障害の統合的治療構造について

○北川 信樹

医療法人ライブフォレスト 北大通こころのクリニック

S1-3 当院リワークプログラムにおける NEAR の実践報告

○能勢 隆宏

特定医療法人十全会 十全病院

座長：後藤 剛(社会医療法人二本松会 山形さくら町病院)

O-01 リワークプログラムとしての集団マインドフルネス療法を参加者はどう感じたか？

○大磯 宏昭、山崎 祐子、濱田 季利、小畑 賢美

特定医療法人富尾会 桜が丘病院

O-02 リワークデイケアにおける心理検査の実施及びフィードバックの有用性

○山田 航、川原 可奈、三枝 華子、川地 拓、岩元 健一郎、今村 扶美、平林 直次

国立精神・神経医療研究センター病院

O-03 リワークプログラムにおける性格傾向の分析ー内田クレペリン検査の予備的試行

○遠藤 正智、柴田 信義、長柄 文子、菅 大索、神田 朋和、佐柄 花菜

医療法人双信会 たてばやし心療クリニック リワークデイケアたてばやし

O-04 望まない退職までの時間稼ぎにリワークが利用された疑いのある1例

○黒川 淳一¹⁾²⁾

1) 医療法人桜桂会 犬山病院、2) 名古屋経済大学 人間生活科学部

O-05 復職事例から考える「Recovery」に大切なこと

○松本 敦

医療法人社団 心癒会 しのだの森ホスピタル

座長：三木 和平(医療法人社団ラルゴ 三木メンタルクリニック)

柴田 信義(医療法人双信会 たてばやし心療クリニック)

[医療リワークの継続の工夫]

S2-1 精神科病院の立場から

○浅井 慶介

社会医療法人居仁会 総合心療センターひなが(旧 ささがわ通り心・身クリニック)

S2-2 診療所において専門性の高いデイケアを維持するために

○佐々木 一

医療法人社団爽風会 心の風クリニック

S2-3 和歌山県立医科大学附属病院での医療リワーク継続の工夫

○山本 眞弘

和歌山県立医科大学 神経精神医学教室

座長：小澤 政司(小澤こころのクリニック)

O-06 休職に至る早期警告サインの特徴

○佐藤 大輔¹⁾²⁾、安保 寛明³⁾

1) 社会医療法人二本松会 山形さくら町病院 リワークさくら、

2) 山形県立保健医療大学大学院保健医療学研究科 博士後期課程、3) 山形県立保健医療大学 看護学科

O-07 リワークプログラム後の再休業者の再休業に至る時期(月)についての検討

○鈴木 淳平¹⁾²⁾、村椿 愛¹⁾、及川 絵子¹⁾、伊藤 文¹⁾、小林 智恵¹⁾、柏 静子¹⁾、
岩田 真澄¹⁾、畠山 晶子¹⁾、松村 亜紀子¹⁾、松島 恭子¹⁾

1) 仙台市総務局厚生課 心の健康相談室、2) 仙南中央病院

O-08 リワークプログラム通所中の気分障害患者における自律神経活動動態調査

○岸田 郁子¹⁾²⁾、服部 早紀²⁾、須田 顕²⁾、宮内 雅利²⁾、白石 洋子²⁾、石井 千恵¹⁾、
石井 紀夫¹⁾

1) 医療法人社団清心会 藤沢病院、2) 横浜市立大学 医学部 精神医学

O-09 当院リワークデイケアにおける成人期 ADHD 患者の時間処理障害に対する
集団認知行動療法

○前田 エミ¹⁾、牧野 加寿美¹⁾、中島 美鈴²⁾³⁾、要 斉¹⁾

1) 医療法人会友 かなめクリニック、2) 九州大学大学院人間環境学府、3) 肥前精神医療センター

O-10 発達障害者の就労や復職を支援する当院の取り組み ～2ステップのグループ療法で個々のリカバリーを目指す～

○根本 雅子¹⁾、端 こず恵¹⁾、曾田 友里佳¹⁾、鈴木 恵子¹⁾、松田 由美江²⁾、
林 果林¹⁾、桂川 修一¹⁾、小山 文彦²⁾

1) 東邦大学医療センター佐倉病院、2) 東邦大学医療センター佐倉病院 産業精神保健・職場復帰センター

9:30～11:30 **指導スタッフの個別指導及び審査** (3F 南会議室)

一般社団法人日本うつ病リワーク協会 研修委員会

12:00～13:00 **ランチョンセミナー3** [医CC15(1)] **第1会場** (3F 大ホール)

座長：遠藤 謙二 (医療法人友愛会 千曲荘病院 理事長・院長)

うつ病になった労働者が復職するために必要なこと ～産業医の立場から～

市来 真彦 東京医科大学 精神医学分野 准教授

協賛：Meiji Seika ファルマ株式会社

12:00～13:00 **ランチョンセミナー4** [医CC69(1)] **第2会場** (2F 大会議室)

座長：西村 勝治 (東京女子医科大学病院 神経精神科)

リワークの有用性と限界 ～事例をもとに考える～

吉田 契造 株式会社デンソー 健康推進部 担当部長 産業医 (精神科医)

協賛：田辺三菱製薬株式会社／吉富薬品株式会社

12:00～13:00 **評議員総会** (3F 南会議室)

13:30～13:45 **ミニコンサート** **第1会場** (3F 大ホール)

ソプラノ：大橋 絵里 (東京二期会)

ピアノ：吉岡 由美子

座長：岡 敬(特定医療法人十全会 十全病院)

働く人のための時間管理

中島 美鈴 九州大学大学院人間環境学府
肥前精神医療センター 臨床研究部

音楽の心身への影響

講 師：

松井 紀和 日本臨床心理研究所

山本 智美 医療法人啓夏会 響ストレスケア～こころとからだの診療所

P-01 当院リワークプログラムについての修了者へのアンケート調査

○長井 景子、西村 聡美、垣田 和美
特定医療法人十全会 十全病院

P-02 リワークにおける復職に向けた企業との連携

○飯村 聡、大野 一人、神崎 順次、飯田 高教、酒井 里佳、菅沼 真衣子、馬淵 真衣
社会医療法人緑峰会 養南病院

P-03 プログラムを「振り返る」意味
～一つの提案として～

○高科 雅哉、尾山 悠子、小粥 早津希、岡田 楓
鳴海ひまわりクリニック

P-04 リワークデイケアにおける集団プログラムと個人面談の役割についての一考察

○小林 也紗
医療法人社団 有朋会 こころのクリニック水戸

P-05 リワークにおける認知機能維持向上プログラムの取り組み

○中坪 雅代
医療法人社団雄人会 メディカルケア虎ノ門

P-06 リワークプログラムにおける中核となるプログラムの検討
ー復職した利用者へのアンケート結果からー

○川森 陽介
医療法人重仁会 大谷地病院 復職デイケア FROG

P-07 利用期間の短縮と本格的なリワークプログラムへの導入を目的とした
ショートケアプログラム

○岡部 将也、飯島 優子
医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門

P-08 リワークプログラムにおける患者教育
ーうつ病・双極性障害におけるリワークでの患者教育の取り組みー

○榎屋 貴子
医療法人社団雄仁会 メディカルケア虎ノ門

P-09 リワークプログラム実施期間と就労継続の関連
～単一医療施設における後ろ向きコホート～

○杉村 直哉¹⁾²⁾、高橋 健²⁾、武井 勇樹²⁾、木村 真実²⁾、京極 明季²⁾、糠信 ひなた²⁾、
堀江 祐介²⁾
1) 神奈川県立保健福祉大学 リハビリテーション学科、
2) 医療法人社団柏水会 柏メンタルクリニック 千葉リワークセンター

P-10 発達障害者が気分障害者と一緒にマインドフルネスプログラムを受けた際の効果について

○神代 嗣雄、河村 友理、栗城 沙羅、岩熊 昭洋、高尾 哲也
医療法人 Epsilon 水戸メンタルクリニック

P-11 医療リワークが行う職場環境調整の特徴

○田中 佐千恵¹⁾、犬飼 清香²⁾、岩井 龍之介³⁾、中野 未来³⁾、小林 正義¹⁾、
杉山 暢宏¹⁾、鷺塚 伸介⁴⁾
1) 信州大学 医学部 保健学科、2) 信州大学 医学部附属病院 医療福祉支援センター、
3) 信州大学 医学部附属病院 リハビリテーション部、4) 信州大学 医学部 精神医学教室

P-12 不知火式復職準備性チェックリスト(SCL)の検証その後

○大仁田 広恵¹⁾、楨本 英典²⁾
1) 不知火クリニック、2) ジャパン EAP システムズ

P-13 当院の再発防止策作成プログラムの取り組み報告
～みんなのメンテナンスシート

○松本 敦、遠藤 裕史、馬場 雄也、山野 幸貴子、小野満 史枝、信田 広晶
医療法人社団 心癒会 しのだの森ホスピタル

P-14 リワークプログラムにおける音楽療法の意義についての検討

○井桁 希、栗城 沙羅、高尾 哲也、岩熊 昭洋
医療法人イブシロン 水戸メンタルクリニック

P-15 ストレス反応からリワーク参加者の内省を促す
ーこころアラートの開発と活用ー

○野上 裕二¹⁾、後藤 充²⁾、山下 秀一¹⁾
1) 医療法人新光会 不知火クリニック、2) 株式会社ジャパン EAP システムズ

P-16 リワークで不調になったため中断となった方のデイケア利用による回復効果

○森田 めぐみ、樋口 明子
医療法人要会 かなめクリニック

P-17 当院リワーク家族会の取り組み
～利用者の視点に立った工夫について～

○原田 智恵子、家永 千夏
医療法人要会 かなめクリニック

P-18 自閉スペクトラム特性をもつ利用者への復職支援のポイント
～支援を通じて見えてきた仮説～

○村田 俊郎
医療法人財団光明会 明石こころのホスピタル

- P-19** うつ復職者の就労継続を支える要因について
～リワークプログラム終了者のインタビューから～
○澁川 沙由理
医療法人財団光明会 明石こころのホスピタル
- P-20** 多機能型心療内科クリニックにおける就労支援の取り組み
○谷津 彩乃、木村 真紀子、林 拓実
医療法人イプシロン 水戸メンタルクリニック
- P-21** リワークプログラム開始時・終了時の内田クレペリン精神検査の特徴について
○樺沢 大地¹⁾、黒川 淳一²⁾、種市 康太郎¹⁾
1) 桜美林大学大学院 心理学研究科 臨床心理学専攻、2) 医療法人 桜桂会 犬山病院精神科
- P-22** リワークプログラム導入可否の指標
—日本版ベック認知的洞察尺度の利用可能性—
○岩井 龍之介¹⁾、田中 佐千恵³⁾、中野 未来¹⁾²⁾、小林 正義³⁾、杉山 暢宏³⁾、
鷲塚 伸介⁴⁾
1) 信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部、2) 信州大学 大学院 医学系研究科 保健学専攻、
3) 信州大学 医学部 保健学科 作業療法学専攻、4) 信州大学 医学部 精神医学教室
- P-23** 心理療法に特化したリワークプログラムに関する実践報告(7)
～メンタリングの活用についての一考察～
○亀井 宗、木下 芳美、唐渡 雅行
医療法人清聖会 とわたり内科・心療内科
- P-24** リワークプログラムにおける性格傾向の分析
—内田クレペリン検査の予備的試行—
○遠藤 正智、柴田 信義、長柄 文子、菅 大索、神田 朋和、佐柄 花菜
医療法人双信会 たてばやし心療クリニック リワークデイケアたてばやし

単位取得表

〈日本医師会生涯教育 単位〉

特別講演、ランチョンセミナー、シンポジウム、教育セッション、市民公開講座、音楽療法ワークショップは、日本医師会生涯教育制度の単位申告の対象となります。3階「受付」で「申告書」をお配りしますので、必要事項を記入し、参加最終日（お帰りの際）に申告書を受付にご提出ください。

- 山梨県医師会会員の先生方は「医籍登録番号」の記載は不要です。
- 県外から参加の先生や山梨県医師会の会員でない先生方は、「医籍登録番号」の記載が必要となります。
（記載がない場合は申請できませんので、必ず記載ください）

- 後日に提出される場合、期限は1週間以内となっております。
（1週ンを越えての申請は受付できません）

事務局まで、FAX もしくは E-mail にてご返送ください。

FAX 番号：(055) 267-0118

（医療法人啓夏会 響ストレスケア～こころとからだの診療所）

E-mail：utsurework20@amail.plala.or.jp

なお CC（カリキュラムコード）は重複しての取得はできませんが、単位数は加算されます。

〈日本医師会認定産業医 単位〉

特別講演、シンポジウム、教育セッション、市民公開講座、及び音楽療法ワークショップは、日本医師会認定産業医の単位申請の対象となります。

但し、既に認定産業医の資格を取得されている方のみが単位を取得できます。

（今後、産業医を目指される方（新規取得者）の場合には、今回の単位は付与できません）

区分（項目）：生涯・専門

単 位 数：会期中で合計10単位

但し、1日で取得できる単位の上限は5単位までです

- 対象の講座受講前に、各会場前にて申請用紙を受け取ってください。申請用紙にお名前とご所属を記入の上、講座終了後に3階「単位申請受付」まで提出してください。

〈日本精神神経学会 専門医単位〉

特別講演、シンポジウム、教育セッション、市民公開講座、音楽療法ワークショップは、日本精神神経学会の専門医単位申請の対象となっています。

なお1会期中で3単位の取得が上限となっています。

- 会期中に、一度、3階「単位申請受付」にお立ち寄りください。
（会期中であれば、どの時間帯でも結構です）
申請の際には、「日本精神神経学会 会員カード」の提示が必要です。
（カードリーダーで読み取り、参加登録します）

〈日本臨床心理士資格認定協会 ポイント〉

本会は、「臨床心理士教育・研修規定別項」第2条第4項に該当するポイント（短期型・ワークショップ）付与の対象となっています。

なお参加証明証は名札に添付されていますので、申請の際に、ご活用ください。

〈日本作業療法士協会研修ポイント〉

本会は、一般社団法人日本作業療法士協会「生涯教育基礎コースポイント」付与の対象となっています。

なお参加証明証は名札に添付されていますので、申請の際に、ご活用ください。

特別講演

4月25日(土) 13:15～15:15

第1会場(3F 大ホール)

うつを生きる、再考

芝 伸太郎

特定医療法人福知会 もみじヶ丘病院

座長：鷺塚 伸介（信州大学医学部 精神医学教室）

企画意図

大会テーマは「うつを生きる、再考～医療リワーク継続のために」です。

抑うつ状態で休職せざるをえなくなった患者さんを、医療リワークでは治療をしていきます。そして、復職という結果を求め、そして同時に再休職予防に向けた取り組みを始めます。そのうつというものには多くのパターン、多様性があります。一方で、知らず知らず、同じような経過を取っていく様子もみられます。そこには、職場という環境から医療に現れ、その後継続し通院する、ないしは治療終結していく患者さんたちがいます。いったい彼らは、いつから病気になり、いつまでが病気なのでしょう？

果たして元気に働いていた時は病気じゃなかったのでしょうか？復職して、再休職予防を成し遂げている時は、病気は治りうつではないのでしょうか？

こうした臨床上の疑問を考えるキーワードが「うつを生きる」です。リワークを開始し、継続していく中で、毎日考える事は患者さんの生きる様子です。休職に至った経緯、その後の療養の様子、友人や家族との人間関係の変化、復職しての働き方の変化、そしてリワークに参加した経験が、今後の人生に与える影響。そうしたものを考えていかないと、リワークは「労働の一部門」としての復職支援プロセス、休職時の「とりあえず、リワーク」というような位置付けにしかならないかもしれません。

「うつを生きる」は演者の芝伸太郎先生が生みの親の言葉で、そのタイトルのご著書が世に問われたのは2002年の事でした。当時は、うつ病患者数が増加し、その治療について多くが問われました。そして、その治療の取り組みの一つとして、医療リワークは誕生しました。その後、およそ20年の月日が経ち、うつそのものが多様化、非定型化してきています。ただ、時代が変わった今でもそこで問われた、患者さんの生きる様子には変わりがないようにも思えます。そこにリワークは関わり続けてきました。

こうした日々の臨床疑問に対し、本講演から多くの示唆を受け、「うつを生きる」を、本大会の参加者で再考することは、日々のプログラムの継続、医療リワークの深化に役立つものと考え企画致しました。

うつを生きる、再考

芝 伸太郎

特定医療法人福知会 もみじヶ丘病院

旧西独の精神病理学者テレンバッハによって刊行された大著『メランコリー』（1961）において、中核的うつ病に罹患しやすい人の几帳面、真面目、清潔、良心的、仕事熱心、周囲の人との衝突を避けるなどプラスの指標で埋め尽くされた病前性格が「メランコリー親和型」として規定された。これが多くの平均的日本人の性格そのものであることに着目して、演者は「日本人という鬱病」（1999）と「うつを生きる」（2002）を上梓したが、この2拙著は演者の予想通り、日本人論とうつ病論とをクロスさせる精神医学史上最後の論考となってしまった。1980年代からすでにメランコリー親和型は日本人の多数派ではなくなっており、例えば「仕事に対する構え」のようなものとうつ病との連関が加速度的に希薄化してゆく臨床風景の激変を精神科医は目の当たりにしていたのである。

鳴り物入りで多くの言語に翻訳された『メランコリー』は旧西独と日本においてのみ絶賛され、他国や他文化圏では無視に近い扱いをされたという驚くべき事実は、うつ病中核群と仕事とが本質的には無関係であることを物語っている。「明治維新から戦後高度成長時代までの100年間の日本」という特殊な時空間において、諸条件の重畳によりたまたま仕事がつつ病性格論に取り込まれたのであり、そのレアな事象をあたかも普遍的真理であるかのように日本の現在や未来へ投影するという錯視はうつ病臨床の貧困化とリワークの形骸化を招来するに違いない。

喫緊の課題はリワークを根本から問い直すこと、つまり「リワークの精神病理学」ではないだろうか。「ワーク（仕事）」と人間との関係を歴史的に検証し、「リ（再び）」というモーメントがグローバル資本主義の浸透によって将来の見通しがきかなくなった現代日本においていかなる意義を持ち得るのかについて考察を加えたい。

口頭発表1

4月25日(土) 15:30～17:15

第2会場(2F 大会議室)

座長：後藤 剛(社会医療法人二本松会 山形さくら町病院)

O-01 リワークプログラムとしての集団マインドフルネス療法を 参加者はどう感じたか？

○大磯 宏昭、山崎 祐子、濱田 季利、小畑 賢美
特定医療法人富尾会 桜が丘病院

【目的】2017年9月から当院リワークに集団マインドフルネス療法を導入して約2年半が経過した。復職という目的指向性の高い利用者達にとってマインドフルネスは意義のあるプログラムとなっているのか検討した。

【方法】2019年5月以降に4回以上プログラム参加した15名(2019年12月末時点)について、Five Facet Mindfulness Questionnaire(以下、FFMQ)を用いて介入前後のマインドフルに関する状態の変化を評価した。また、復職準備性評価シートの大項目8つについて役に立つと感じたか、および一般的にリワークの中核プログラムと位置づけられるであろう集団認知行動療法との比較についてアンケート調査を実施した。

【結果】対象者15名のプログラム介入前後のFFMQ総点の平均値は、56.1%→60.8%であった。復職準備性評価シートについては、「A. 基本的な生活状況」、「B. 症状」、「E. 職場との関係」、「H. 健康管理」の改善について「役に立った」との回答が多かった。集団認知行動療法との有効性に関する比較については、「両方」10名、「マインドフルネス」3名、「認知行動療法」2名という結果であった。

【考察】集団マインドフルネス療法の効率的な運用方法については現在も試行錯誤中であるが、予想よりも「役に立った」とする好意的な回答が多く、集団認知行動療法と比しても遜色のない結果を得た。ただ、プログラム内容の消化に個々のばらつきが大きい現状に変わりはない。今後、リワークプログラムとしての均質化と個別的働きかけのバランスや復職に有用な要素の明確化について更なる検討を進めたい。当日は、アンケートの結果と共に、シェアリング時に聞かれた参加者の具体的な声も併せてお伝えできればと考えている。

【倫理的配慮】本研究発表は桜が丘病院の臨床研究倫理審査委員会での審査において承認を得たものである。また、この発表に関する開示すべきCOI(利益相反)はない。

共催・後援・協賛等 一覧

第3回日本うつ病リワーク協会年次大会 山梨大会開催に当たり、多大なご協力、ご支援を賜りました。ここにお名前を記し、謹んで御礼申し上げます。

後 援

(順不同)

山梨県	上野原市	大月市	甲斐市
甲府市	中央市	都留市	韮崎市
笛吹市	富士吉田市	北杜市	南アルプス市
山梨市	市川三郷町	昭和町	南部町
西桂町	富士河口湖町	富士川町	身延町
鳴沢村	山中湖村		
一般社団法人甲府市医師会		一般社団法人中巨摩医師会	
一般社団法人東山梨市医師会		山梨県精神科病院協会	
山梨県精神科診療所協会		公益社団法人山梨県看護協会	
日本精神科看護協会 山梨県支部		山梨県精神保健福祉士協会	
一般社団法人山梨県作業療法士会		山梨県臨床心理士会	
集団認知行動療法研究会		山梨日日新聞社 山梨放送	
テレビ山梨		株式会社エフエム甲府	
株式会社エフエム富士		公益社団法人やまなし観光推進機構	

ランチョンセミナー

武田薬品工業株式会社／ルンドベック・ジャパン株式会社
 ファイザー株式会社／大日本住友製薬株式会社
 Meiji Seika ファルマ株式会社
 田辺三菱製薬株式会社／吉富薬品株式会社

広 告

エーザイ株式会社	MSD 株式会社
大塚製薬株式会社	株式会社日本・精神技術研究所
大日本住友製薬株式会社	ヤンセンファーマ株式会社
ルンドベック・ジャパン株式会社	塩野義製薬株式会社
吉富薬品株式会社	日本イーライリリー株式会社

展 示

帝人ファーマ株式会社	株式会社 日立製作所
------------	------------

書籍販売

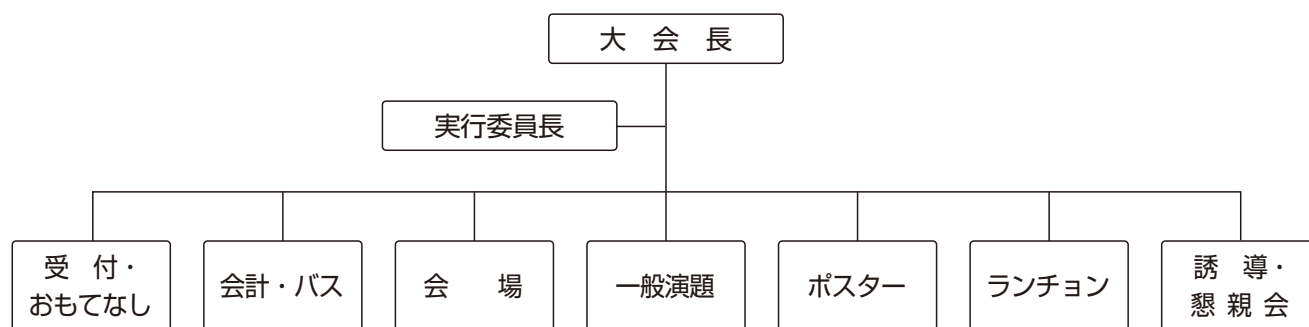
星和書店

協 力

合同会社エムエム IMS	Café musica
--------------	-------------

第3回日本うつ病リワーク協会年次大会 山梨大会

運営組織図



大会長 ○大橋 昌資

実行委員長 ○山本 智美

受付・おもてなし	○林 美奈	藤原マリ子	萩原 悠香	長田亜紀子
	西野華乃弓	市川沙矢佳	若森真由子	田中 純子
	二田 未来	長島 泉	佐藤 俊之	杉村 直哉
	朽木 碧	塩川 真生	鈴木 菜穂	本郷 咲夏
	水野多笑子	菅 大索	神田 朋和	佐柄 花菜
	遠藤 正智	清水 悠司	成田 正樹	小川 優子
	櫻井 千恵			

会計・バス ○山宮 弘美

会場	○柿崎 崇	堀内 千晶	橋本 和仁	飯島 文子
	早坂 友成	後藤 智行	前川 麻友	大橋 衛
	内藤 隆介	星野 淳一	富澤 明久	福田有希子
	風間 洋子			

一般演題 ○小澤 政司

ポスター ○飯塚 茜 野沢 舞

ランチョン ○反田 克彦

誘導・懇親会	○塚原 葉子	山本 和弘	中澤 桂太	松本 貴恵
	浅川 亜悠			

○は実行委員会メンバー

第3回日本うつ病リワーク協会年次大会 山梨大会 プログラム・抄録集

発行日：2020年3月26日

事務局：医療法人啓夏会 響ストレスケア～こころとからだの診療所

〒910-0017 山梨県甲斐市中下条1933-1-2F

TEL：055-267-8111 FAX：055-267-0118

E-mail：utsurework20@amail.plala.or.jp

出版：株式会社セカンド

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F

TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025

<https://secand.jp/>